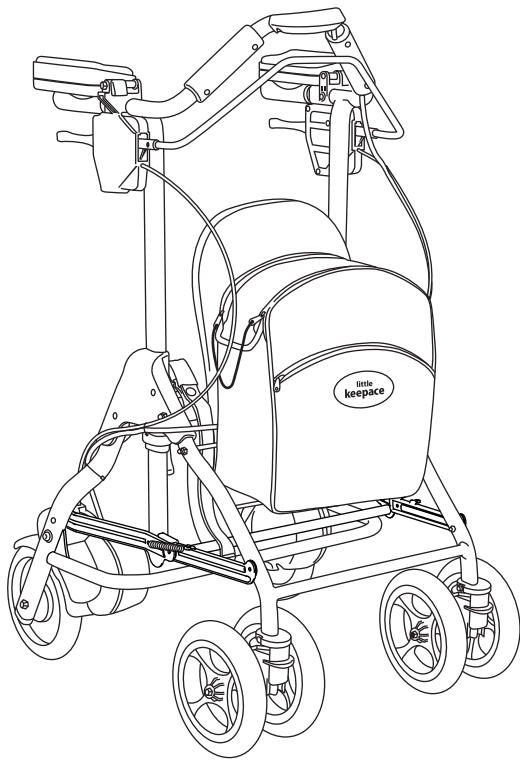


## 取扱説明書

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。  
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をかならずお読み  
ください。また、読まれたあとは大切に保管してください。  
製品に関して不明な点や不都合なことがございましたら、ご購入販売店もしくは  
弊社カスタマーサポートへご連絡ください。



### 目次

ご使用前の注意	1P
ご使用上の注意	2～4P
その他注意	5～6P
お手入れ方法	7P
保管方法	7P
各部の名称	8P
操作パネルについて	9P
オートパワーオフ機能について	9P
設定モードについて	10～11P
使用前のご準備	12～13P
基本動作について	14P
車体の組み立て方・折りたたみ方	15P
アームレストの切りかえ方	15P
グリップの使用方法	16～17P
ブレーキの使用方法	18P
座面の使用方法	18P
ワン・ツー・スリーキャスターの使用方法	19P
ブレーキの調節方法	20P
音声案内について	21P
緊急時の対処法	22P
異常確認時のポイント	23P

点検について	24P
本体の仕様	25P
付属品の仕様	26P

福祉用具総合メーカー

**株式会社 幸和製作所**

〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町3丁159番地1

【カスタマーサポート】10時～17時(土・日・祝日を除く)

**0120-508-058**

フリーコール フリーコール コーワ オーコーワ

<http://www.tacaof.co.jp>

## ご使用前の注意

**⚠ 警告** 下記の場所では絶対に使用しないでください。

- バス、電車の中やエスカレータ。
- 雨、雪、凍結などで滑りやすい所。
- 悪路での使用（石畳みなど車体に衝撃が加わりやすい場所）

**⚠ 警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 雷が発生しているときは、落雷の可能性が高くなる電柱や木のそばを歩行しないでください。
- 充電器は屋内で使用してください。
- 濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。
- 充電器の上に物を置いたり、布をかぶせたりしないでください。
- 充電中は火気に近づけないでください。 ● 改造しないでください。

**⚠ 注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

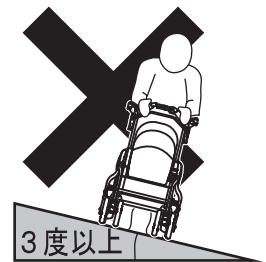
- 電源を入れる際は、操作パネル以外に手を触れないでください。グリップやフレームに触れたまま、電源を入れると正常に動かない場合があります。
- 本機は電源を入れたあと、安全のため機器に異常がないか、自己診断をします。電源ランプが点滅している間（約 2 秒間）は、操作パネル以外に手を触れないでください。
- バッテリーパックがしっかり固定されるよう、ベルトを正しく締めてください。
- 組み立てるときは周囲に人がいないことを確認してください。
- 組み立て、折りたたみおよび調節は確実に行ってください。また指などをはさまないように注意してください。
- グリップ高さ調節ツマミの固定を解除した状態で、グリップおよびフロントグリップから手をはなさないでください。
- 高さ設定後、がたつき抑えレバーを確実に固定してください。
- かならず使用する高さに設定した状態で各部を点検してください。P24 の「点検について」を参照してください。
- ブレーキを解除したときには、後輪がスムーズに回転することを確認してください。
- 車輪に紐などが巻きついていないか確認してください。巻きついていた場合は、手をはさまないように気を付けてゆっくりと取り除いてください。
- ネジなどのゆるみがないこと、グリップが固定されていることを確認してください。
- タイヤに磨耗が無いことを確認し、必要に応じて交換などをしてください。交換する場合はご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへ連絡してください。
- ご使用の際は、かならずご自身の体調を確認し、安全に使用できるかどうかを判断してください。体調によっては、転倒など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 坂道・溝・段差のある所、砂・泥・水溜りのある所を通る場合は十分に注意してください。
- 交通量の多い所や混雑している所で使用する場合、また夜間に使用する場合は十分に注意してください。

## ご使用上の注意

**警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

### 歩行のとき

- 本機は歩行補助器具です。走ったり、無理な速度（6km/hを超えて）で押したり、無理な操作はしないでください。
- バッテリー残量がないとき、バッテリーパックが本機に挿入されていないときは、絶対に坂道を走行しないでください。内蔵ブレーキが効かず、転倒や衝突など重大な事故につながるおそれがあります。
- 凸凹や傾斜のある路面では十分に注意してください。
- 図のような7度以上の傾斜面で使用しないでください。
- 3度以上の横傾斜面で使用しないでください。
- グリップやフロントグリップ以外の場所を持って歩行しないでください。
- グリップやフロントグリップを片手で操作しないでください。
- グリップやフロントグリップに寄りかかったり、荷物を吊りさげたりしないでください。車体だけが動いたり、転倒することがあり危険です。
- ハンドブレーキを使用するときは、左右同時にかけてください。
- フロントブレーキを使用するときは、左右のブレーキがかかっていることを確認してください。
- アシスト力、ブレーキ力、速度制限が心身機能に合っているか、試運転等により、かならず確認してから使用してください。
- 前輪が浮上した状態で歩行し続けると、意図せぬアシスト力が働くおそれがあります。
- 本機は電源が「切」の状態では安全のため車輪にブレーキがかかり、重たくなるように設計されています。電源が「切」のまま長距離歩行は困難ですので、お出かけ前にバッテリー残量が十分であることを確認してください。
- 使用中にバッテリーパックを取りはずさないでください。
- 本体に何も取り付けないでください。誤検知をしてしまい、意図せぬアシスト力がはたらくおそれがあります。
- 急加速時のブレーキは一定の条件でしか作動しません。
- 本製品は転倒防止のため急加速を検知すると、自動でブレーキがかかります。道路や踏切などの横断中に急加速することがないように、時間的なゆとりを持ってゆっくり横断してください。



## ご使用上の注意

**警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

座面に  
関して

- 座面に座る際は、電源を切り、かならず駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。
- 立ち座りの際は、車体が動かないことを確認してからゆっくりと身体を動かしてください。
- 最大使用者体重をかならず守ってください。

その他

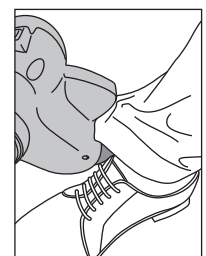
- 折りたたみ、組み立て、グリップ高さ調整をする際は、かならず電源を切ってください。
- 分解・修理は弊社サービス員以外行わないでください。

## ご使用上の注意

**注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

歩行の  
とき

- ハンドブレーキやフロントブレーキを握った状態、および駐車ブレーキをかけた状態で歩行しないでください。
- 車体からはなれるときはかならず電源を切り、駐車ブレーキをかけてください。また、非常口・消火器・消火栓の前に放置しないでください。
- ブレーキは自動車のブレーキとは構造的に違いますので、過信しないでください。
- 坂道では駐車しないでください。坂道では、たとえブレーキをかけても動く場合があります大変危険です。やむを得ない場合は動かないように十分に注意してください。
- 踏切などの溝を越えるときは、前輪がはまらないように十分に注意して操作してください。
- 車輪を持って本体を持ちあげないでください。車輪とフレームで手をはさみケガをするおそれがあります。
- アームレストを持って本体を持ちあげないでください。故障や変形の原因となります。
- 電源が「入」の状態を持ち上げたりしないでください。
- 座面に人を乗せたまま押さないでください。
- 本機に傘を積んだり、くくり付けたりしないでください。歩行中に傘が風を受けると、バランスを崩して転倒するおそれがあります。
- タイヤに手や衣服、靴、布などが巻き込まれないように注意してください。



## ご使用上の注意

**⚠ 注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

歩行のとき	<ul style="list-style-type: none"><li>● 急加速によりブレーキがかかった際は、電源ボタンを押し、ブレーキを解除して使用してください。</li></ul>
座面に関して	<ul style="list-style-type: none"><li>● 坂道などの斜面では座らないでください。</li><li>● 浅く座らないでください。</li><li>● 車体にもたれかかりすぎると車体が動いてバランスを崩すおそれがありますので注意してください。</li><li>● 踏み台として使用しないでください。</li><li>● 幼児、子供を座面上に立たせないでください。また操作させないでください。</li></ul>
袋に関して	<ul style="list-style-type: none"><li>● 袋に5kg以上の重さの荷物を入れしないでください。</li><li>● 袋に荷物を入れたままで車体を折りたたまないでください。</li><li>● 袋の中に乳幼児を乗せないでください。</li><li>● 袋の中に貴重品を入れたまま車体からはなれないでください。</li><li>● 袋を取りはずすときは、無理に引っばらないでください。</li></ul>
操作に関して	<ul style="list-style-type: none"><li>● 操作パネルやその周囲を押さえたり、負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。操作パネルが破損することがあります。</li><li>● 操作パネルの表面は傷つきやすいので、工具などの金属や鉛筆、ボールペンなどの固いもので強く押したり、叩いたり、引っかいたりしないでください。傷つくことがあり故障、破損の原因となります。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源を入れた状態でハンドル部とそれ以外の金属部品を同時に触ると、エラーが起こることがあります。その際はバッテリーを一度取りはずし、電源を入れなおして使用してください。</li></ul>

## その他注意

### 有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品（リチウムイオンバッテリー）が含まれています。有寿命部品の寿命は、使用頻度や使用環境（温湿度など）等の条件により異なります。

### 本製品の廃棄について

- 本製品を廃棄する際は、一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となります。廃棄の際は弊社カスタマーサポートへ相談してください。または回収を行っている地方自治体の条例に従って処分してください。

### リチウムイオンバッテリーリサイクルご協力のお願い



- 貴重な資源を守るため、不要になったリチウムイオンバッテリーは、破棄せず、弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

### ⚠ 注意

- 本製品を廃棄する場合は、各自治体の廃棄ルールに従ってください。自治体によって規則が異なりますので、お住まいの自治体に確認してください。
- 本製品に付属のバッテリーパックはリチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーにはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発することがあります。リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能な資源です。本製品を廃棄する場合は分解せず、弊社カスタマーサポートに連絡してください。
- バッテリーパックが洪水などで水没した場合は使用せず、弊社カスタマーサポートへ連絡してください。

### 本機の使用について

- 本機は使用中や充電中に温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 本機は屋外での使用を想定し、設計されていますが、極端な高温や低温は避けてください。温度は0℃～40℃、湿度は20%～80%の範囲内で使用してください。
- 直射日光の当たる場所や凍結が起こる場所に本機を長時間放置しないでください。
- 本機に強い磁気を近づけると誤作動や故障の原因となる可能性がありますので、磁気を帯びたものを近づけないでください。また、キャッシュカードやクレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがありますので、磁気カードなどを本機に近づけないでください。

## 専用充電器とACコードについてのお願い

- 思わぬ発熱、発火、機器の誤作動をまねく恐れがありますので、湿気やほこり、振動の多い場所や、一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近くでは充電をしないでください。
- 充電をする際は、周囲の温度が適正な場所（0℃～40℃）で行ってください。
- 充電中、ACコードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのまま使用してください。
- 故障の原因となりますので、強い衝撃を与えないでください。また、ACコードのプラグは変形させないでください。
- プラグの抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合は、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

## お手入れ方法

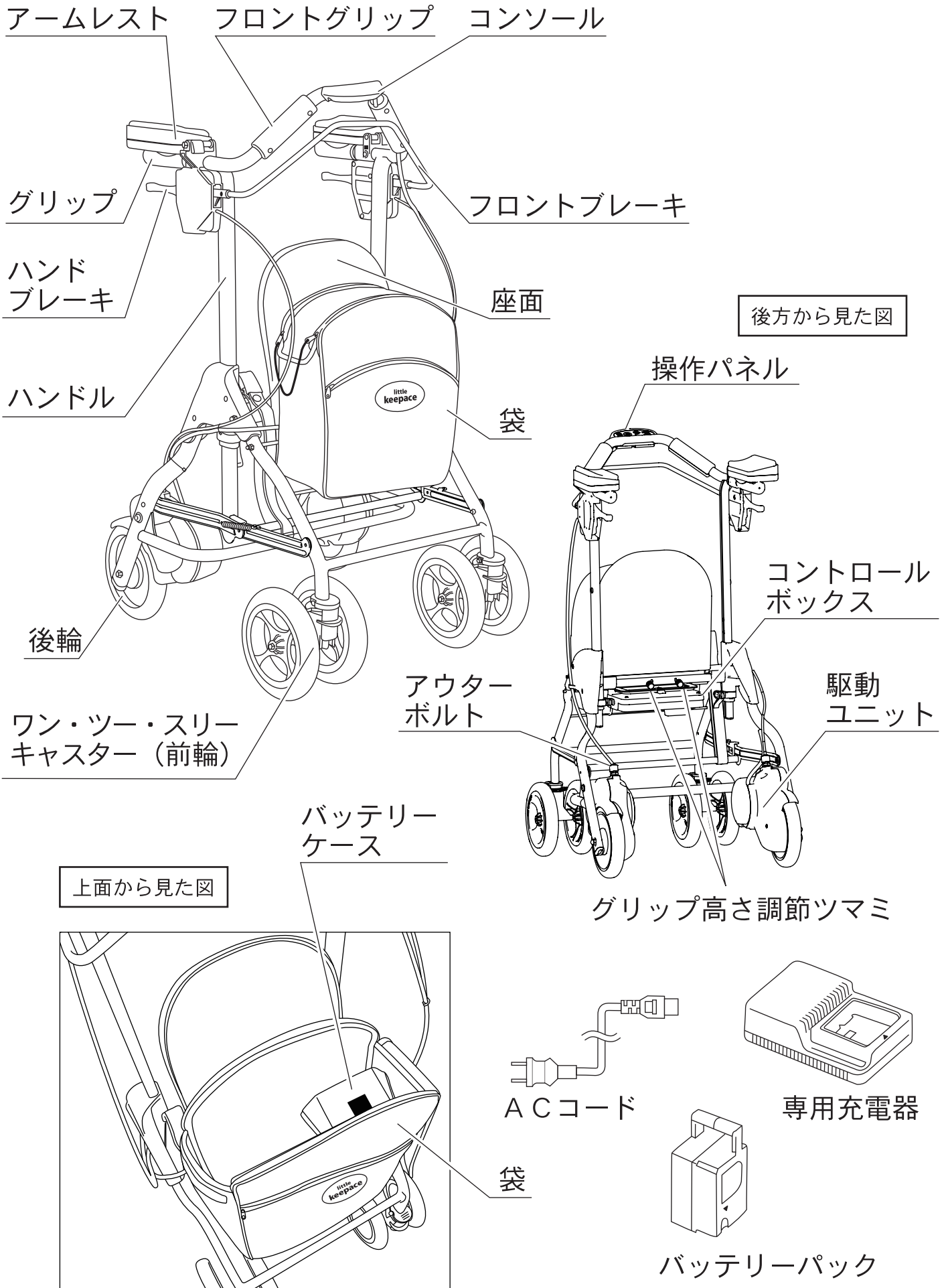
- 雨などで濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。泥やほこりがついたときは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤を使って拭き取り、その後乾いた布でよく拭き取ってください。また、タイヤワックスの使用は避けてください。
- 本機に向けて、放水しないでください。
- 袋の汚れは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後よく乾かしてください。
- 塩素系洗剤・シンナー・クレゾールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックの劣化や破損をまねくことがあります。
- 市販のクリーニングキットは故障の原因となりますので、使用しないでください。
- 操作パネルに水滴や汚れなどを付着したままにすると、表示面の変色やシミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因になります。水滴などが付いた場合はすぐに脱脂綿や柔らかいきれいな布（めがね拭きなど）で軽く拭き取ってください。
- バッテリーパックや専用充電器の端子部分は時々乾いた布や綿棒などで清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となります。また、清掃する際には端子の破損に十分注意してください。

## 保管方法

- 故障や車体の損傷を防ぐため、直射日光や雨・露を受けない風通しの良い屋内で保管してください。また、長期間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。
- 保管前にはかならず充電を行い満充電状態にしてください。
- 長期間保管する場合も、かならず1か月に1回は充電してください。バッテリーは保管中も自己放電によって電気が消耗しています。そのまま放置すると、バッテリー容量が回復しない場合があります。バッテリーパックの交換が必要となります。
- 本機を長期間使用しない場合は、ほこりが入らないようにカバーなどをかけてください。
- 本製品をエアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。急激な温度の変化により結露するため、内部が腐食して故障の原因となります。

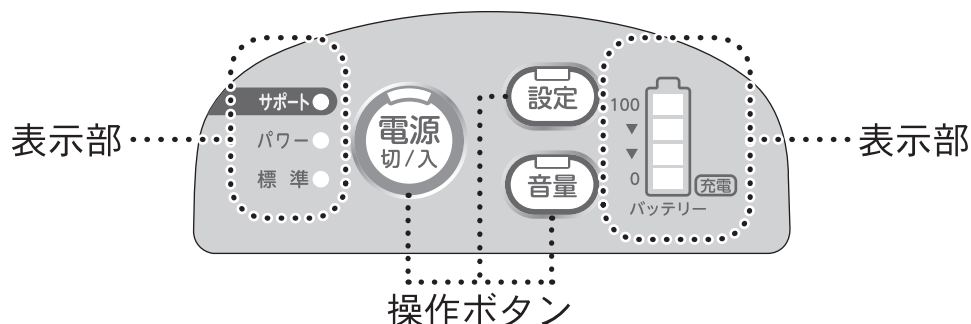


# 各部の名称



## 操作パネルについて

操作パネルでは、本機をご使用いただく際に必要な操作や確認を行います。



### 【表示部】

サポート	設定中のモードが点灯します。
パワー	設定中のモードが点灯します。
標準	設定中のモードが点灯します。
バッテリー残量	現在のバッテリー残量を表示します。

### 【操作ボタン】

電源	本機の電源を「入/切」したいときに押します。 また、以下の操作を行うときにも押します。 ・本機が異常を検知したときにはたらく制動機能を解除したいとき。 ・流れている音声をキャンセルしたいとき。
設定	モード設定を変更したい場合に1秒以上押します。
音量	スピーカーからの音声出力を設定したいときに押します。 ・押すたびに音量が大/小/消音に切り替わります。

**⚠ 注意** ● [電源] により、異常発生時の制動機能を解除するときは、本機が安全な状態であることが確認できるまでは、[電源] は絶対に押さないでください。

### 【スピーカー】

さまざまな案内を音声で行います。また、本機に異常があるときは使用者にお知らせします。

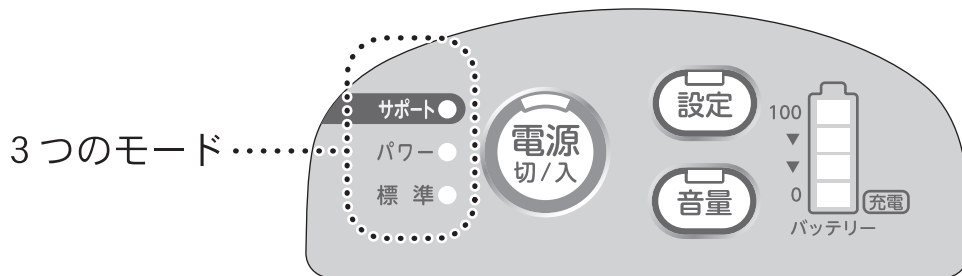
## オートパワーオフ機能について

操作パネルの [電源] が「入」のときに、本機を5分以上操作しない状態が続くと、節電のため自動的に電源をオフにします。

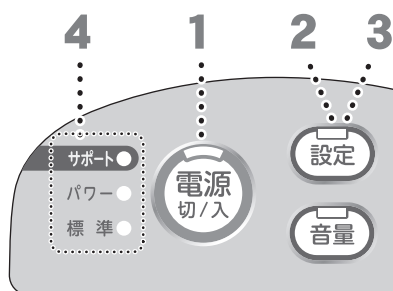
**⚠ 注意** ● オートパワーオフ中は、操作パネルのランプはすべて消灯します。  
● オートパワーオフの待機時間は、バッテリーパックの充電が「100」の状態です。  
● [電源] が「切」の場合は安全のために車輪の回転が重くなる仕様です。

## 設定モードについて

本機では、3つのモード設定を用意しています。用途にあわせてお使いください。



### 【設定方法】



- 1 電源を入れる。
- 2 操作パネルの「設定」を1秒以上押し続け、はなす。  
・モードのランプが点滅 ( )
- 3 「設定」を短く押して、設定したいモードに合致す。
- 4 そのまま放置すればランプの点滅が止まり、設定完了。

### ⚠ 注意

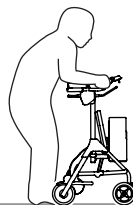
- 電源を入れる際は、操作パネル以外に手を触れないでください。グリップやフレームに触れたまま、電源を入れると正常に動かない場合があります。

### 【各モードの特長】

〈上り坂〉

〈平地〉

〈下り坂〉



サポートモード	弱めのアシスト	弱めのブレーキ	強めのブレーキ
パワーモード	強めのアシスト	やや弱めのアシスト	やや弱めのブレーキ
標準モード	やや強めアシスト	弱めのアシスト	弱めのブレーキ

※アシスト：進行方向への推進力を発生させます。

※ブレーキ：進行方向に対して抑制をかけます。

- <POINT1> ・すべてのモードで、つまづいたりした際に車体が急加速すると自動ブレーキがかかるようになっています。  
※自動ブレーキを解除するには、安全な体勢を確保してから電源ボタンを押してください。

- <POINT2> ・サポートモードでは、3.5km/h以上速度がでないように制動をかけます。

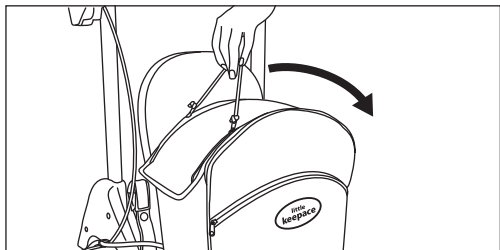
## 【各モードの選び方】

サポートモード	リハビリテーションのときやパーキンソン病の方など車体に体重を預けるような使い方をするときを選んでください。
パワーモード	標準モードでは物足りない場合に使用する出力の高いモードです。 <ul style="list-style-type: none"><li>・アームレストを使った握りをする場合</li><li>・重い荷物を運ぶとき</li><li>・体格が大きい方が使用する場合</li><li>・急な坂で使用する場合</li></ul>
標準モード	標準的な使い方をするときを選びます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・上り坂ではアシストをします。</li><li>・下り坂ではブレーキが掛かります。</li></ul>

## 使用前のご準備

本機から取りはずしたバッテリーパックを専用充電器に設置するだけで、簡単に充電が行えます。本機を初めて使用される前や、ご使用中にバッテリー残量が少なくなったときは、かならず充電してください。

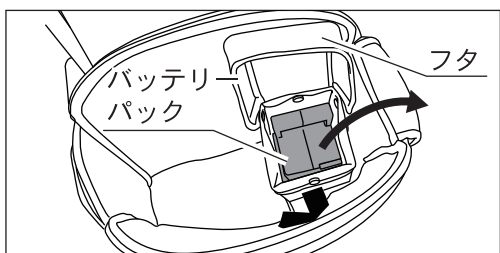
### 【バッテリーパックを本機からはずす】



1 バッグを開ける。



2 バッテリーケースの面ファスナーをはずす。



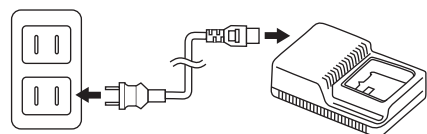
3 フタを開ける。

4 バッテリーパックを取りはずす。

### ⚠ 注意

- 本機を屋外で保管する場合は、かならずバッテリーケースのフタを閉めてください。雨水やほこりなどがバッテリーケース内に入ると本機の故障の原因となります。
- 充電には、本製品に付属の専用充電器を使用してください。

### 【バッテリーパックを充電する】

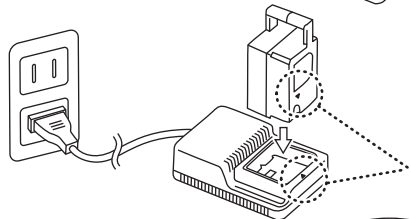


1 専用充電器に AC コードを接続する。

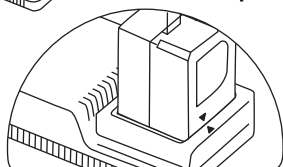
2 電源プラグを電源コンセントに挿入する。

3 ▲印を合わせて、バッテリーパックを専用充電器に取り付ける。

専用充電器のランプが赤で点灯し、バッテリーパックの充電が開始されます。



▲印を合わせる。(3)



## 充電時間の目安

- 操作パネルの「バッテリー残量」表示が（1 目盛）になると、バッテリーパックを充電する必要があります。満充電にかかる充電時間はおよそ 2 時間です。使用環境やバッテリーパックの状態によって充電時間は異なります。操作パネルの表示が「100」にならない場合は、バッテリーの寿命が考えられます。バッテリーの交換については弊社カスタマーサポートへ連絡してください。

### ⚠ 注意

- 付属のバッテリーパックは約 500 回まで繰り返し充電ができます。
- 付属のバッテリーパックはリチウムイオンバッテリーを使用しており、リサイクル可能な資源です。リチウムイオンバッテリーは誤った取り扱い、廃棄により爆発することがあります。環境保全のため、不要になったバッテリーパックは弊社カスタマーサポートに相談いただくか、リサイクル協力店などにお持ちください。

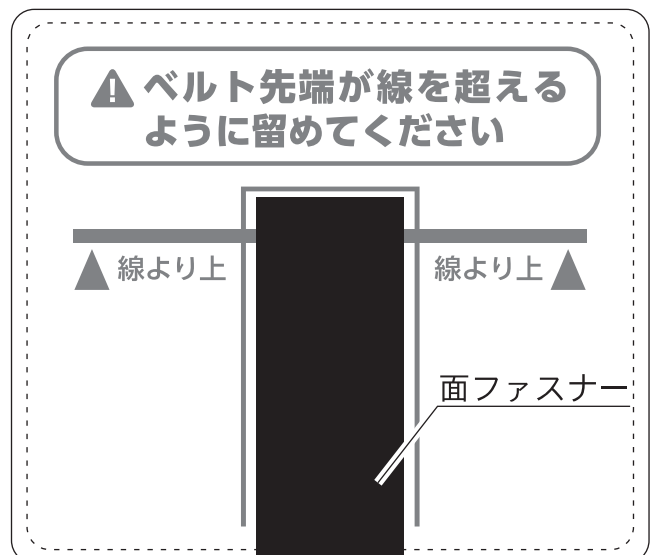
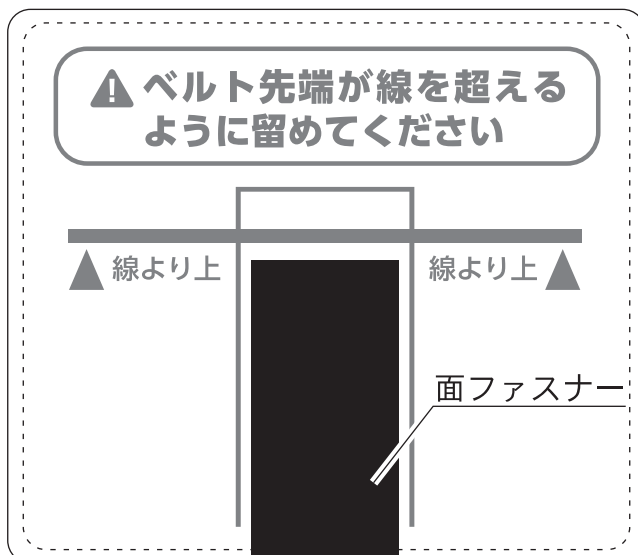
### 【バッテリーパックを本機に取り付ける】

- 1 P12 の取りはずす手順とは逆の操作を行ってください。

### ⚠ 注意

- 面ファスナーをしっかりと留めてください。
- ベルトの先端が赤い線を越えていることをかならず確認してください。浅く止めると、振動でバッテリーケースの中でバッテリーパックがはずれて誤作動の原因となることがあります。

### ● バッテリーケース上面図

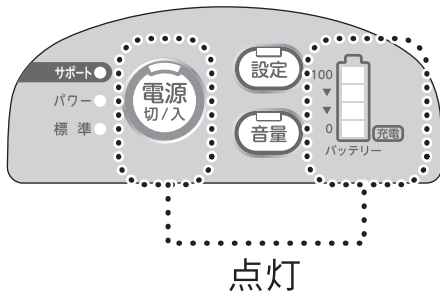


## 基本動作について

充電を完了させたバッテリーパックを本機に取り付け、電源を「入」にすると、グリップまたはフロントグリップを握るだけで自動的に歩行支援を開始します。本機の操作に十分に慣れるまでは、平らな地面で歩行する練習をしてください。

### 【平らな地面を歩行する】

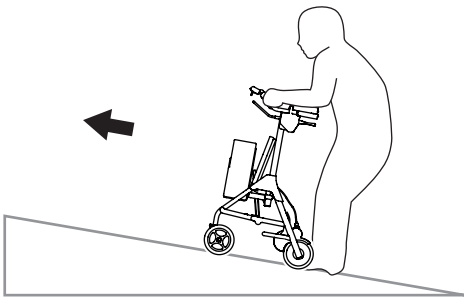
- 1 [電源]を押して本機の電源を入れる。  
操作パネルの電源とバッテリー残量が点灯します。
- 2 両手でグリップまたはフロントグリップをしっかりと握り、進行方向に向かってゆっくりと押しながら歩行する。
- 3 停止するときは、押すのをやめ、ゆっくりと立ち止まる。



### ⚠ 注意

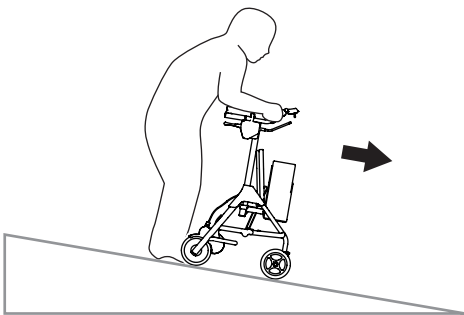
- 電源を入れる際は、操作パネル以外に手を触れないでください。グリップやフレームに触れたまま、電源を入れると正常に動かない場合があります。

### 【上り坂を歩行する】



- 1 グリップまたはフロントグリップを両手でしっかりと握り、上り坂方向に向かってゆっくりと押しながら歩行する。  
センサーの働きにより、平地よりも強い力でアシストが働き、平地のように軽い力で歩行できます。
- 2 停止するときは、グリップまたはフロントグリップを押すのをやめ、ゆっくりと立ち止まる。  
グリップまたはフロントグリップから手をはなすと、車体が止まります。

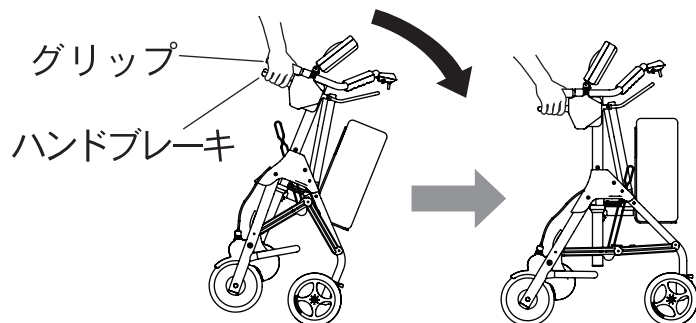
### 【下り坂を歩行する】



- 1 グリップまたはフロントグリップを両手でしっかりと握り、下り坂方向に向かってゆっくりと押しながら歩行する。  
センサーの働きにより、自動でブレーキが働き、安全に進めます。
- 2 停止するときは、グリップまたはフロントグリップを押すのをやめ、ゆっくりと立ち止まる。  
グリップまたはフロントグリップから手をはなすと、車体が止まります。

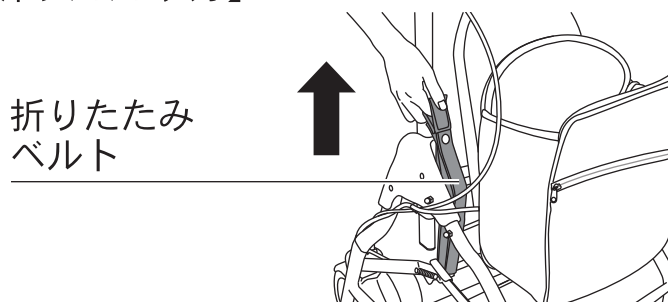
## 車体の組み立て方・折りたたみ方

### 【組み立て方】



グリップとハンドブレーキを一緒に握り、そのまま車体を前方へ押し出すように動かしてください。(※その際、体重をかけて車体に寄りかからないようにしてください。転倒のおそれがあり危険です。)

### 【折りたたみ方】



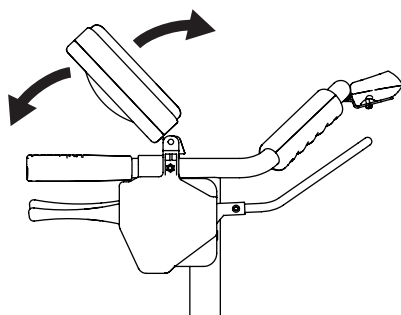
折りたたみベルトをまっすぐ上へ引きあげてください。

### ⚠ 注意

- バッテリーパックを装着した状態や、電源「入」の状態を組み立て、折りたたみを行わないでください。
- 周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- アームレストを確実に前方へ倒してから行ってください。
- アームレストを使用しながら組み立てないでください。
- 確実に組み立てられていることを確認してから使用してください。

## アームレストの切りかえ方法

アームレストを前方または後方に倒して切りかえてください。



### ⚠ 注意

- 指などをはさまないように注意してください。
- アームレストを前方に倒した状態で、アームレストに体重をかけないでください。
- 片側のアームレストのみの使用はしないでください。

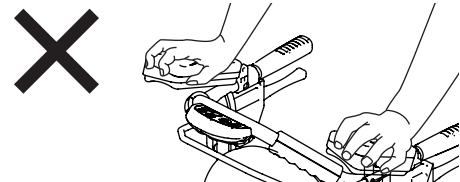
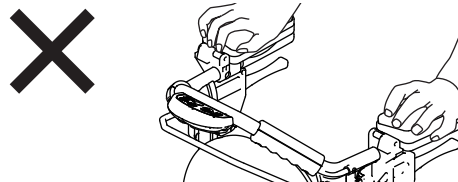
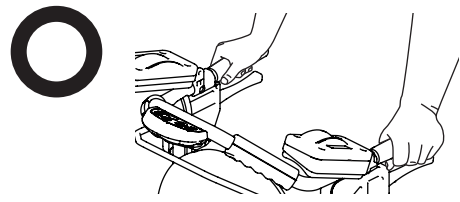
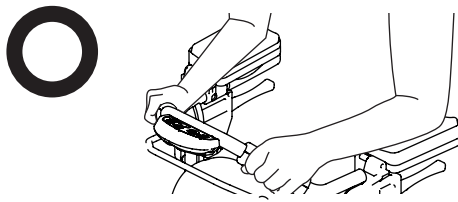


## グリップの使用法

左右のグリップを握って、ゆっくり歩行してください。

【アームレストを使った握り方】

【アームレストを使わない握り方】



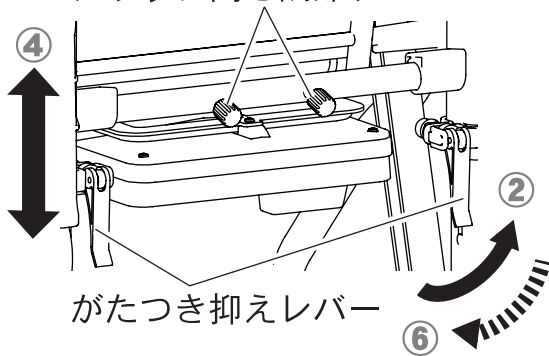
### 注意

- グリップやフロントグリップ以外の部分を持って使用しないでください。
- 片手での操作はしないでください。バランスを崩し危険です。
- グリップを使用するときは、アームレストが固定されるまで前へ倒してください。中途半端な状態だと手元に倒れてくるおそれがあります。

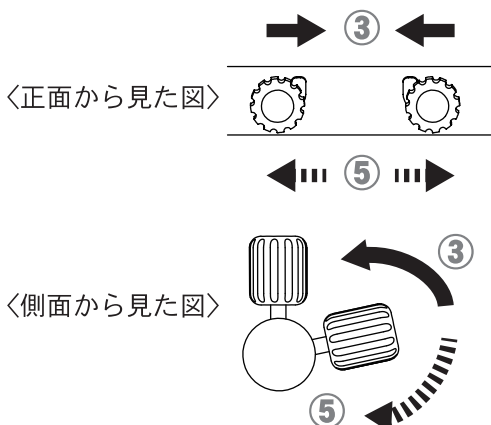
### 【高さの調節方法】

※車体を後方から見た図

グリップ高さ調節つまみ



※グリップ高さ調節つまみ



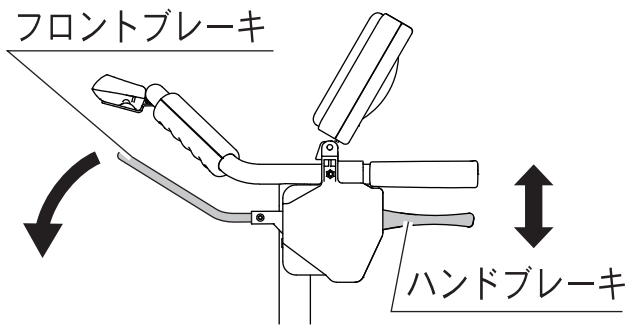
- 1 操作パネルの電源が消灯していることを確認する。
- 2 がたつき抑えの解除  
左右のがたつき抑えレバーを手前に引いてください。
- 3 グリップ高さの固定の解除  
グリップ高さ調節つまみを内側に寄せ、上にします。
- 4 グリップ高さの調節  
グリップを上下させ、お好みの高さに調節してください。
- 5 グリップ高さの固定  
グリップ高さ調節つまみを手前にひいてください。つまみが外に開いてグリップが固定されたことを確認してください。
- 6 がたつき抑えの固定  
左右のがたつき抑えレバーの先端を押しさげてください。

- 高さ調整を行う際は、かならず電源が切れている状態で行ってください。
- グリップ高さ調節ツマミの固定を解除した状態で、グリップおよびフロントグリップから手をはなさないでください。
- グリップ高さ調節ツマミが外側に開き、グリップが確実に固定されていることを確認してください。

## 注意

- 高さの設定後、電源を入れ直してください。[電源]が点滅している間は、グリップおよびフロントグリップから手をはなしてください。
- 高さの設定後、がたつき抑えレバーが確実に固定されていることを確認してください。
- がたつき抑えレバーがハンドルと接触しないようにしてください。
- 高さの設定後、都度ブレーキの調節を行ってください。
- 指などをはさまないように注意してください。

## ブレーキの使用方法



### ■ハンドブレーキの使用方法

グリップを持ちながら、左右のハンドブレーキを同時に握ってください。

### ■フロントブレーキの使用方法

フロントグリップを持ちながら、両手でフロントブレーキを握ってください。

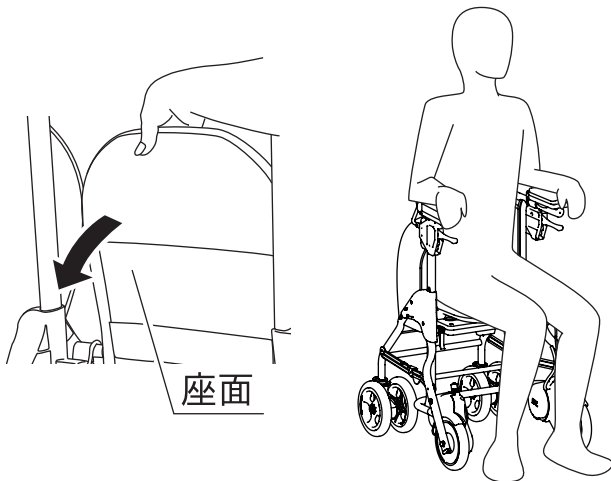
### ■駐車ブレーキの使用方法

ハンドブレーキを押しさげると、後輪が固定され駐車ブレーキがかかります。さげたハンドブレーキを握ると解除されます。フロントブレーキを押しさげても駐車ブレーキはかかりますが、ハンドブレーキにて駐車ブレーキをかけてください。

### ⚠️ 注意

- 座面に座るとき、車体からはなれるときはかならず電源を切り、駐車ブレーキをかけてください。左右の後輪が固定されていることを確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- フロントブレーキに体重をかけすぎないように注意してください。故障や変形することがあります。

## 座面の使用方法



電源を切り、駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。

ハンドル高さを適度な位置に調節して頂くと、快適にご使用いただけます。座面を下へ倒してください。座面がしっかり倒されていることを確かめてから、中央に座ってください。

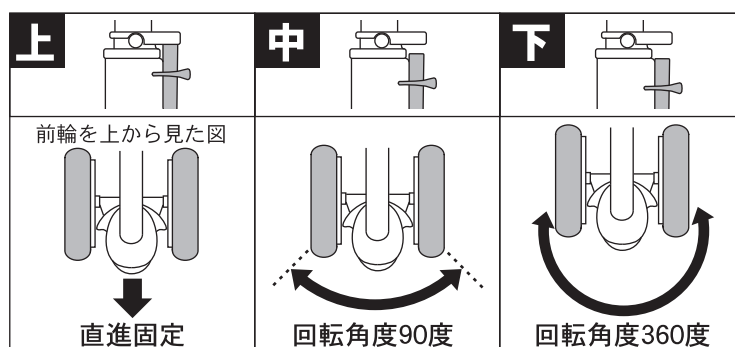
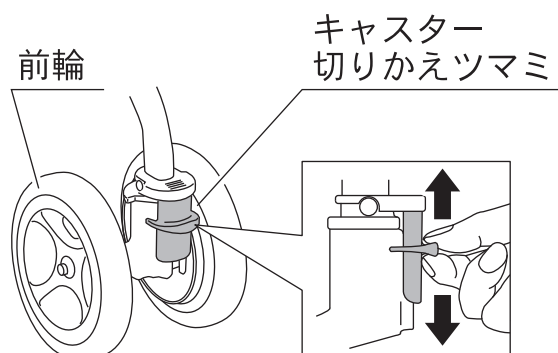
折りたたむときは座面を持ちあげ、座面が固定されていることを確認してください。

### ⚠️ 注意

- 指などをはさまないように注意してください。
- 折りたたむときは、座面をゆっくりと持ちあげてください。
- 折りたたむときは、座面を袋の裏側に押し付けすぎないように注意してください。
- 立ち座りの際は、ゆっくりと身体を動かしてください。
- 立ち座りの際は、アームレストに体重をかけすぎないように注意してください。転倒するおそれがあります。

## ワン・ツー・スリーキャスターの使用法

前輪の動き方を、お好みに合わせて3段階に設定していただけます。キャスター切りかえツマミを上・中・下に動かしてください。（設定は、前輪をまっすぐ前に向けた状態で行ってください。）



### ⚠ 注意

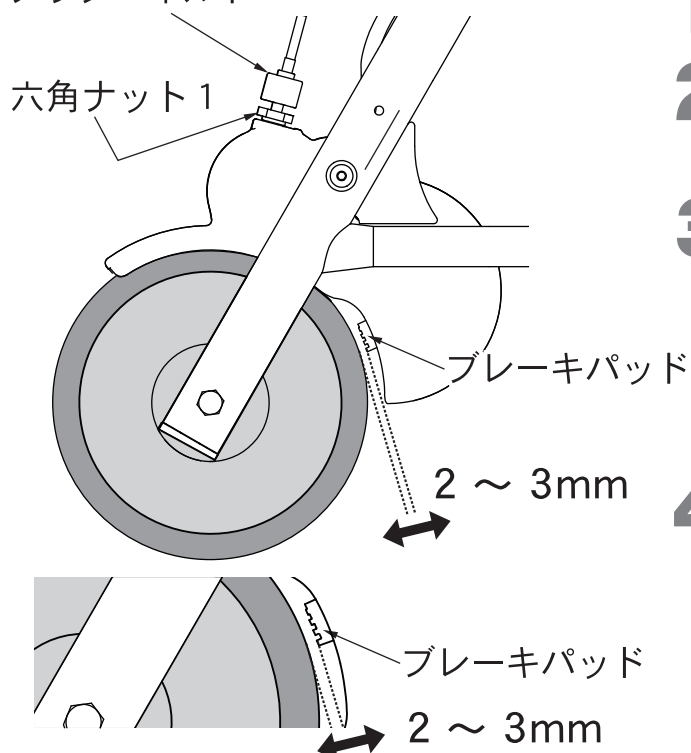
- 左右の前輪のキャスター切りかえツマミが同じ位置にあることをかならず確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。

## ブレーキの調節方法

ハンドブレーキの効き方に不都合があるときは、以下の手順で調節してください。  
アウターボルトは左右にあります。必要に応じてそれぞれを調節してください。

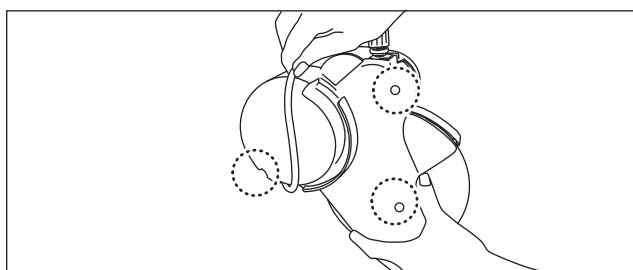
アウターボルト

六角ナット1

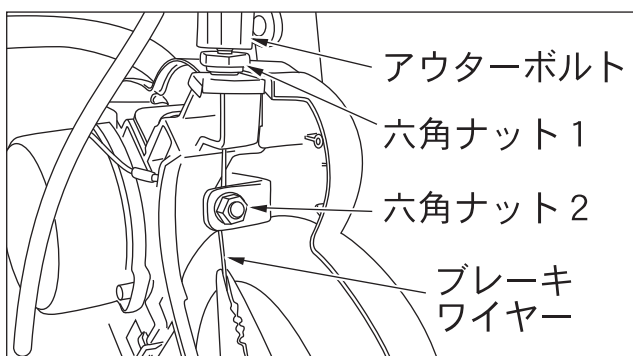


- 1 駐車ブレーキを解除してください。
- 2 六角ナット1を反時計回りの方向へ回してゆるめてください。
- 3 アウターボルトを回して、タイヤ外側とブレーキパッドのすき間を2～3mmに調節してください。  
時計回り → すき間が広がる  
反時計回り → すき間が狭まる
- 4 アウターボルトを押さえながら、六角ナット1を時計回りの方向へ回して締めてください。(六角ナット1を締める際アウターボルトが回ると、3で行った調節がずれてしまいます。)

### ■上記の手順でブレーキ調節ができない場合



- 1 駆動部ユニットの内側カバーをはずしてください。  
(ドライバーで3か所のネジをはずしてください。)



- 2 六角ナット2を反時計回りの方向へ回してゆるめ、ブレーキワイヤーをペンチなどで引っ張り、後輪とブレーキパッドのすき間を2～3mmに調節してください。  
その後、六角ナット2を時計回りの方向へ回して締めてください。

### ⚠ 注意

- かならず電源が切れている状態で行ってください。
- かならずご使用のグリップ高さで調節を行ってください。  
調節後、各ブレーキ動作を行い、左右の後輪が固定されることを十分に確認してください。

## 通常の音声案内について

本機の電源を切るときなど、通常時には以下の音声がかかります。

種 別	説 明	音 声
オートパワー オフ	5分間無操作で自動電源オフする 際に案内します。	ピポッ、しばらく操作がされてい ないため、電源を切ります。
音量変更	音量切り替えの際に発声します。	機械音

## 警告音と異常をお知らせする音声案内について

本機が検知した異常の状態によって、スピーカーから出る警告音と音声による案内の内容は異なります。表にしたがって対応してください。それでも異常がみられるときは、使用を中止し、弊社カスタマーサポートに連絡してください。

## 異常が発生したときの音声案内と対応について

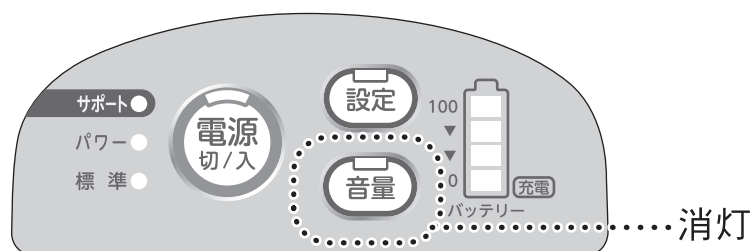
本機に異常が発生した場合は、内容によって対処法が異なります。

異常内容	表示部	音 声	対 応
歩行中に急斜面 にさしかかった とき	点灯	ピポッ、車体が傾いています。 注意してください。	本機は路面の傾斜角が 7度以下の平地で使用 してください。
バッテリー残量 が少なくなった とき	点灯	ピポッ、バッテリーが少なく なっています。バッテリーを 充電してください。	バッテリーパックを充 電してください。
車体を傾けすぎた とき	点滅	ピポッ、転倒します。車輪を おろしてください。	車体を安全な角度に戻 してから、電源ボタン を押してください。
急発進をしたとき	点滅	ピポッ、異常な動きがあった ため、一時停止しました。電 源ボタンを押してください。	安全な体勢を確保して から、電源ボタンを押 してください。

### 【音声案内を消すには】

#### ① 音声を消す

押すたびに音量が大／小／消音に切り替わります。  
消音時は操作パネルの「音量」が消灯します。



## 緊急時の対処方法

異常な事態が発生した場合は、バッテリーパックをはずす必要があります。

異常内容	表示部	音 声	対 応
電源が入らない	点滅	ピーピーピー、故障です。バッテリーをはずしてください。	バッテリーパックをはずしてください。
バッテリー残量が空になったとき	点滅	ピポッ、まもなく電源が切れます。すぐに安全な場所へ移動してください。	バッテリーパックを充電してください。
エラー検出時	点滅	ピポッ、エラーです。バッテリーをはずして、入れ直してください。	バッテリーパックをはずし、再度装着してください。
バッテリー温度が高温になったとき	点滅	ピポッ、バッテリーに異常が発生しています。バッテリーをはずしてください。	
バッテリー温度が冷たくなったとき	点滅	ピポッ、バッテリーに異常が起きています。バッテリーをはずしてください。	

### 注意

- 重要度の高い異常音は音声が消音に設定されていても警告音を鳴動します。バッテリーパックをはずして、本機の状態を確認してください。

## 異常確認時のポイント

本機の使用中やバッテリーパックの充電時に異常が生じたときは、下表にしたがって点検してください。それでも異常がみられるときは、使用を中止し、弊社カスタマーサポートに連絡してください。

異常内容	対 応
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ バッテリーパックは装着されていますか？ (P13)</li> <li>■ 電源は「入」になっていますか？</li> <li>■ バッテリー残量が不足していませんか？</li> </ul>
発進しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源は「入」になっていますか？</li> <li>■ 誤操作ではありませんか？</li> <li>■ グリップまたはフロントグリップを押していますか？(P16)</li> <li>■ 溝や段差で動かない状態になっていませんか？</li> <li>■ 駐車ブレーキがかかっていますか？ (P18)</li> </ul>
旋回しづらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前輪が直進固定にされていませんか？ (P19)</li> </ul>
音量が小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 音量が「小」または「消音」に設定されていませんか？ (P9)</li> </ul>
速度が出ない (アシストされない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 荷物を積みすぎていませんか？</li> <li>■ 急な上り坂ではスピードが遅くなります。異常ではありません。</li> <li>■ サポートモードではアシストを行いません。異常ではありません。</li> </ul>
速度が出ない (ブレーキがかかる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グリップまたはフロントグリップを正しく握っていますか？ (P16)</li> <li>■ 下り坂ではブレーキがかかります。異常ではありません。</li> <li>■ 急加速するとブレーキがかかります。異常ではありません。</li> <li>■ サポートモードではアシストを行いません。異常ではありません。</li> </ul>
電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 走行中に「電源」を押していませんか？ (P9)</li> <li>■ 操作しないまま5分経過すると自動で電源をオフにします。故障ではありません。</li> </ul>
走行しなくなっ た	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ バッテリー残量が不足していませんか？</li> <li>■ 溝や段差で動かない状態になっていませんか？</li> </ul>
充電できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ バッテリーパックが寿命になっていませんか？</li> </ul>



## 点検について

安全にご使用いただくために、下表にしたがって点検してください。異常がある場合や定期点検については、弊社カスタマーサポートに連絡してください。

### 重要

- 定期点検は、ご使用の頻度に関わらず、ご使用後1か月経過時、および6か月ごとに実施してください。
- 長期間使用しなかった場合でも、かならず定期点検を実施してください。

点検項目	内 容
全般	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 異常な音はありませんか？</li><li>■ ボルトやナット、ネジのゆるみはありませんか？</li><li>■ 変形・損傷はありませんか？</li></ul>
操作パネル	<ul style="list-style-type: none"><li>■ ボタンは正しく反応しますか？</li></ul>
ハンドル	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 過度なガタやゆるみ、変形、ひび割れなどはありませんか？</li><li>■ 左右旋回などの操作はスムーズに行えますか？</li></ul>
バッテリーパック	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 端子に汚れはありませんか？</li><li>■ バッテリー残量は2目盛以上点灯していますか？</li></ul>
ブレーキ	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 駐車ブレーキが手動で作動しますか？</li><li>■ 駐車ブレーキとハンドブレーキの使用時に左右の後輪が確実に固定されることを確認してください。</li></ul>
座面	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 座面の折りたたみ、固定が正しく行えますか？</li><li>■ 変形、損傷はありませんか？</li></ul>
前輪	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 前輪の動き方は正しく設定できますか？</li></ul>
前輪・後輪	<ul style="list-style-type: none"><li>■ タイヤの角の丸みが無くなるなど、著しく摩耗していませんか？</li></ul>
ハンドル高さ調整	<ul style="list-style-type: none"><li>■ ハンドル高さが固定できますか？</li></ul>

### 注意

- 点検するときは、かならず駐車ブレーキがかかっていることを確認してから行ってください。
- 点検で取りはずした付属品類は、かならず元の通りに取り付けてください。

## 本体の仕様

品名		リトルキーパス
寸法	組み立て寸法	幅 545× 奥行 670× 高さ 900 ~ 1080mm
	折りたたみ寸法	幅 545× 奥行 505× 高さ 930mm
	グリップ高さ	805 ~ 985mm 7ポジション
	アームレスト高さ	840 ~ 1020mm 7ポジション
	座面高さ	525mm
	座面寸法	幅 290× 奥行 330mm
	袋寸法	幅 290× 奥行 140× 高さ 350mm
	重量	14kg (標準バッテリーパック装着時)
	最大使用者体重	75kg
	袋の積載荷重	5kg
	本体材質	アルミニウム
	車輪材質 (前)	ポリプロピレン・EVA
	車輪材質 (後)	ポリプロピレン・TPR
	座面材質	ナイロン
袋材質	ポリエステル	
環境条件	使用環境温度	0 ~ 40℃
アシスト性能	実用登降坂性能	縦断勾配 12% (傾斜 7度) 横断勾配 5% (傾斜 3度)
	速度範囲	最大 6.0km/h
	連続動作時間	4時間 (標準モード・通常歩行・標準バッテリーパック使用時)
アシストユニット	形式	3相ブラシレスDCモータ
	モータ定格出力	DC24V 30W×2 (60W)
操作パネル	設定	ボタン / LED (緑)
	電源入力	ボタン / LED (緑)
	音声	ボタン / LED (緑)
	バッテリー残量	LED (緑・3段階) (橙・1段階)
	サポート	LED (緑)
	パワー	LED (緑)
	標準	LED (緑)
	スピーカー	標準装備 (音声案内専用)

## 付属品の仕様

バッテリー パック	種類	リチウムイオンバッテリー	1 個
	容量	25.2 V-2.1 A h	
	質量	650 g	
	サイクル寿命	500 回	
充電器	形式	専用充電器（据え置き型）	1 個
	電源	A C 100 V 50 / 60 Hz	
	充電時間	約 2 時間	
AC コード			1 本
保証書			1 枚
取扱説明書（本書）			1 冊



### 注意

- 製品または付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく内容変更することがあります。

TAKE CARE OF  
**Tacaof**

<http://www.tacaof.co.jp>

製品の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、  
ご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへご連絡ください。  
そのまま使用しますと、重大な事故につながる危険がございます。

※本製品をほかの方にお譲りになるときは、かならず本書もあわせてお渡してください。